

特別展

「チベット
ボン教の神がみ」

会期 七月二日(火)まで
会場 常設展示場内

会場 講堂(定員四五〇名)
参加費 無料・先着順
お問い合わせ 鈴木七美研究室
電話 〇六六七八八二九〇
(平日九時〜一七時)

企画係
電話 〇六六七八八二九〇
(平日九時〜一七時)
■ひらめき☆ときめきサイエンス
〜よつこぞ大学の研究室へ〜
KENHI
『環境問題を考える底力を養おう』
〜世界の人の暮らしと環境〜

わせは、研究協力課研究協力係
まで。
電話 〇六六七八八二九〇
(平日九時〜一七時)
●無料観覧日のお知らせ
六月二日(日)は、音楽の祭
日のため常設展を無料で観覧
いただけます。ただし、自然文
化園を通行される場合は入園
料が必要です。

千家十職
X
みんなく
茶の湯のものづくり
と世界のわざ

会期 六月二日(火)まで
会場 特別展示場

企画展

「ナシ族画家が描く生活
世界—雲南省西北部で
はぐくまれた絵心」

会期 六月二三日(火)まで
会場 常設展示場内
*研究者によるギャラリートークを開催します。

「国際研究フォーラム
「二世紀を生きるアー
ミッシュユ—日々の助け
合いから国際協力へ」

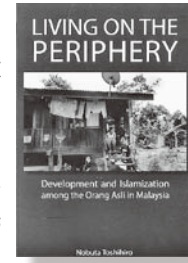
一九八二年にフランスで、夏
至の日にみんなくで音楽を奏し
む「音楽の祭典」がはじまりま
した。それは、今、世界各地に広
がりつつあります。
日本でも、その趣旨に賛同す
る人びとの呼びかけで、二〇〇二
年から「音楽の祭典」がスタート
しました。みんなくも、七年連続
して世界のさまざまな楽器を使
った音楽で「音楽の祭典」を祝い
ます。

日時 六月二日(日)
一〇時三〇分〜一六時三〇分
会場 特別展示場一階等
入場料 無料
お問い合わせ 情報企画課情報

日時 七月二四日(金)一三時〜
一七時(受付一三時三〇分)
対象 高校生
会場 セミナー室等(定員一五名)
参加費 無料・事前申し込み制
(お申し込み多数の場合は、抽
選となります)
お申し込み・詳細のお問い合

刊行物紹介

■信田 敏宏 著
『LIVING ON THE PERIPHERY』
Center for Orang Asli Concerns
定価:1,200円(税込)
2008年刊行の同タ
イトル本をマレーシ
アで出版。写真94枚
を追加し、装丁を新た
にした400頁におよ
ぶ著作。開発とイスラ
ーム化の圧力の下で
生きるマレーシア先
住民の姿を描く。



■関 雄二、狐崎 知己、中村 雄祐 編著
『グアテマラ内戦後
一人間の安全保障の挑戦—』
(みんなく実践人類学シリーズ5)
明石書店 定価:5,250円(税込)
中米グアテマラでは30年以上にわたり内
戦が続いた。ポスト・
ジェノサイド社会にお
いて、暴力や追放など
の「恐怖」や、貧困・医
療や教育機会などの
「欠乏」をどう克服す
るのか。文化人類学者
が社会復興にいか
に貢献できるかを試
みた実践の記録。



■国立民族学博物館 編
『チベット ポン教の神がみ』
千里文化財団 定価:1,680円(税込)
企画展「チベット ポン教の神がみ」関連書
籍。ボン教とは、仏教が導入され主流となる
以前から、チベットで信仰されてきた宗教で
す。本書は、ボン教が築きあげてきた宗教的
宇宙の一部を、詳細な
解説と豊富なカラー
図版資料によって紹
介します。チベットの
基層文化をより深く
理解するための手
助けとなる画期的な
一冊です。



■関根康正 編
『ストリートの人類学 上巻・下巻』
(国立民族学博物館調査報告No.80,81)
■『国立民族学博物館研究報告』
2009-33巻2号、3号

みんなくゼミナール

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13:30~15:00 (13:00開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料

展示場をご覧になる方は、観覧料が必要
です。

第373回 6月20日(土)
「辺境のキリスト教美術をたず
ねて—南米イエズス会ミッシ
ョンの聖堂装飾」

講師 齋藤 晃(先端人類科学研究部准教授)
スペイン統治時代、南米の辺境地域に
イエズス会が建設したキリスト教聖
堂の現状を紹介します。また、イエズ
ス会の宣教師と先住民が、感覚に訴え
る美術の力をめぐって交渉を繰り返
したことについてお話しします。



第374回 7月18日(土)
「グローバル化の中の漢族婚礼」

講師 韓 敏(民族社会研究部准教授)
グローバリゼーションによって世界
が均一な文化に覆われているよう
でありながら、実際に人びとはローカ
ルな環境のなかでグローバルな文化
を再編成しつつ、自分らしさ、地域性、
民族性、ルーツと伝統などを再認識し、
再構築していこうとしています。多元
的に展開された漢族の婚礼を通して、
現代中国の庶民の生活と文化変容を
考えてみます。



友の会

友の会講演会 会場●国立民族学博物館 第5セミナー室
定員●96名(先着順、申込不要、当日会員証をご提示ください)

第373回 7月4日(土)

時間●14:00~15:30(13:30開場)
シリーズ「先住民のいま」①
狩猟採集は「先住民」の権利か?
—アフリカにて
講師 池谷和信(民族社会研究部教授)
南部アフリカの先住民サン(ブッシュ
マン)の人びとにとって狩猟採集生活
は当然の権利と思われがちですが、そ
れは彼らが本当に望んでいる事では
しょうか?これまでサンが関わった「先
住民の権利」の裁判は、欧米のNGO団
体など外部の働きかけ無しにはあり
得ませんでした。世界的なネットワ
ークのなかですむ先住民運動と、当事
者の思惑について解説します。

第374回 8月1日(土)

時間●14:00~15:30(13:30開場)
シリーズ「先住民のいま」②
ダレがダレを「先住民」とよぶ?
—東南アジアにて
講師 信田敏宏(研究戦略センター准教授)
東南アジアでは、「先住」民族と「後」
からやってきた民族をはっきりとわ
けることはできません。しかし実際
には「先住民政策」がとられ、国連先
住民権利宣言を批准している国もあ
ります。国家や国際団体が定める「先
住民」と、近年急にそう呼ばれる事
になった人びととの意識のズレや、
森林開発の場面で唱えられる「先
住民保護」の虚と実を語ります。

第75回 民族学研修の旅

ペルー プレ・インカの遺跡と
人びとの暮らし
期間●10月8日(木)~22日(木)15日間
さまざまな文化・時代の遺跡をめぐ
りながら、アンデス文明の豊かさを実
感する旅です。マチュピチュの麓にあ
るホテルや、アマゾンのジャングル・ロ
ジに宿泊します。お申込は左記まで。

国立民族学博物館 友の会
電話 06-6877-8893
ファックス 06-6878-3716
電話でのお問い合わせは
月曜~金曜日午前9時から17時まで
にお願いします。
http://www.senri-f.or.jp/
E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

ミュージアム・ショップ

トンパ画を特別販売

企画展「ナシ族画家が描く生活世界、
雲南省西北部ではぐくまれた絵心」の
開催にあわせ、展示でも紹介されて
いるナシ族画家、張雲嶺さんの作品を特
別に販売しています。展示作品と同じ



ナシ族の老獵師

く、ナシ族伝統の手すき用紙、トンパ
紙に描かれています。この紙は、独特
の光沢があり、和紙よりも硬く、保存
処理を施さなくても数百年は持つと
いわれています。
「紅色の山」、「ナシ族の老獵師」(各
税込21,000円)などの作品はいずれ
も縦横22cm、ご家庭で飾っていただ
きやすいサイズも魅力的です。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ
電話 06-6876-3112
ファックス 06-6876-0875
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/
E-mail shop@senri-f.or.jp